

新大分スタンダードの日常化に向けて ～「板書とノートの一体化」からの見直し～

学習課題 かん電池も直列つなぎにすると、どうして電気のはたらきが大きくなるのだろうか。

直列つなぎにする ⇒ ? ⇒ 電気のはたらきが大きくなる。

予 想 直列つなぎの方が電流が強いから

実験方法 電流の強さ … けん流計のはりのふれ方
電気のはたらきの大きさ … 豆電球の明るさ

くらべ方 かん電池1個 かん電池2個の直列つなぎ かん電池2個のへい列つなぎ

結 果 1. … 2. … 3. … 4. … 5. …

わかったこと 豆電球が
①②③④の1番電流の強さが大きく明るい → 直列つなぎ
電流の強さが強いほど明るくなっている。
④1つなぎとへい列つなぎは同じくらいの明るさと電流の大きさ

まとめ 直列つなぎにすると、

ふり返り

本日の目標

○若い先生方

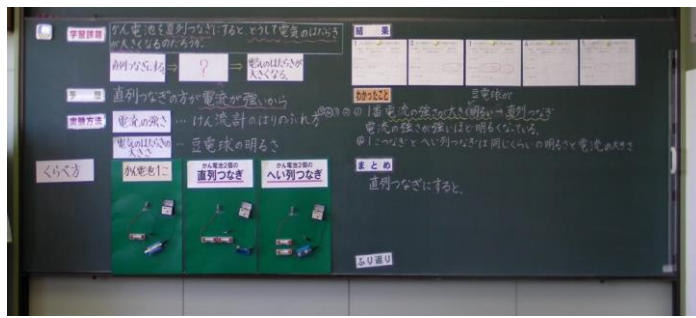
板書やノートの「互見」を通じて、
子どもたちに優しい授業のための
ヒントを得る。

○リーダー格の先生方

提案されたワークショップの手法を
もとにして、
校内研修を活性化するための
ヒントを得る。

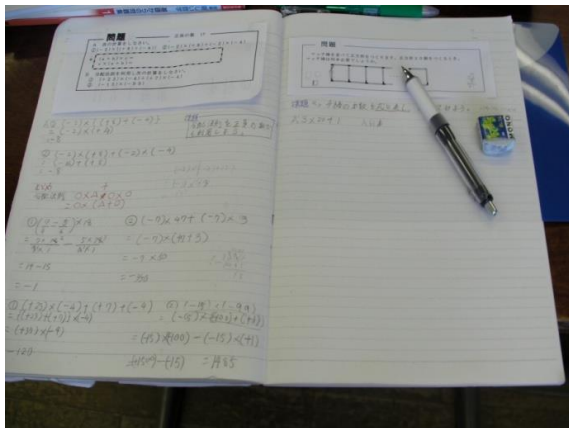
後藤の「この実践に学びたい」5

秋田県大仙市訪問（H22）の成果物が、新大分スタンダードだ！



2 整理された板書と一体となった美しいノート

1 見通しのきいたきめ細かな授業



4 協働して問題解決する子どもたち



3 つまずきを見逃さず寄り添う教師

今、我々は、「新大分スタンダード」と称して授業改善のあり方を問うている。だが、そもそも、このキャンペーンに至る「ヒント」はあまり知られていない。県教育委員会では、「学力向上対策先進地研修」と銘打って、秋田県や福井県等に市町村の代表を派遣し、優れた取組を伝授いただく取組を続けている。今回、構成したのは2年次である平成22年度の大仙市訪問の折の写真だ。お気づきいただけると思うが、このとき、すでに、大仙市では我々が言う「新大分スタンダード」の授業を実際に行っていた。いったい何年先を行っているのか！この期に及んでも、授業改善が進まない本県の状態に歯がゆさを感じ、今回は一石を投じてみた。



新大分スタンダード

新大分スタンダードで
主体的・対話的で深い学びを！

「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力を育成するワンランク上の授業

1 1時間完結型

「主体的な学び」を促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」

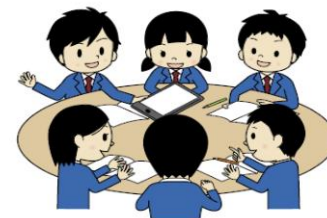
- *学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」
- *学びの成果を実感し、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげる「振り返り」
- *追究すべき事柄を明確にする「課題」、追究した結果を明確にする「まとめ」

2 板書の構造化

*思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書

3 習熟の程度に応じた指導

- *「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り
- *「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫



安心して学べる「学びに向かう学習集団」

4 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

主体的・対話的で深い学びを創造する学習展開

各教科の見方・考え方を働かせて展開する「課題設定⇒情報収集⇒整理分析⇒まとめ・発信・交流⇒振り返り・評価」等の学習過程の中で行われる

- *問いの発見・解決、自己の考えの形成・表現、思いに基づく構想・創造
- *様々な人との対話・協働による自分の考えの深化・拡充

1 「1時間完結」型授業

「主体的な学び」を促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」

学習課題 かん電池を直列つなぎにすると、どうして電気のはたらきが大きくなるのだろうか。

直列つなぎにする ⇒ ? ⇒ 電気のはたらきが大きくなる。

予想 直列つなぎの方が電流が強いから

実験方法 電流の強さ … けん流計のはりのふれ方
電気のはたらきの大きさ … 豆電球の明るさ

くらべ方 かん電池1個の直列つなぎ、かん電池2個の直列つなぎ、かん電池2個のへい列つなぎ

結果

わかったこと 豆電球が①番電流の強さが大きく明るい ⇒ 直列つなぎ電流の強さが強いほど明るくなる。
②1つなぎとへい列つなぎは同じくらいの明るさと電流の大きさ

まとめ 直列つなぎにすると、

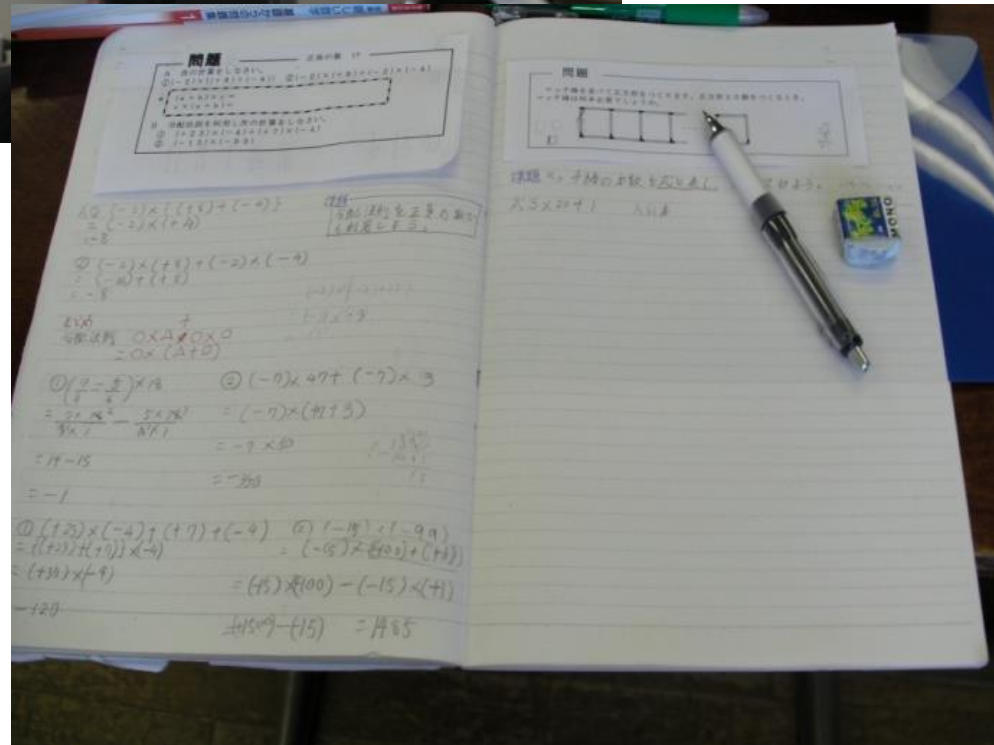
振り返り

1 見通しのきいたきめ細かな授業

2 板書の構造化（板書とノートの一体化）



2 整理された板書と
一体となった美しいノート



3 習熟の程度に応じた指導



3 つまづきを見逃さず寄り添う教師

4 生徒指導の3機能を意識した 問題解決的な展開

主体的・対話的で深い学びを創造する学習展開



4 協働して問題解決
する子どもたち



教員の同一性(UD化)を図るキャンペーン

Skill Up OITA 2010

大分県教育委員会

低学力層の児童生徒に優しい3つの授業改善の徹底

校長経営
のPoint

授業改善のPoint

目指す授業

日常化

可視化

組織化

①「1時間完結」型授業の徹底

②板書の構造化、板書とノートの一体化

③習熟の程度に応じた指導の強化

児童生徒が

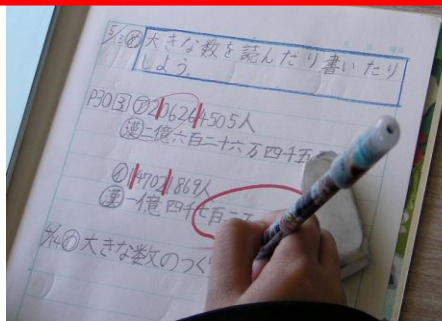
ゴールを見通せる授業

振り返りのできる授業

独自課題に挑戦できる授業



「1時間完結」型授業の取組
(宇佐市立長洲中学校)



「板書とノートの一体化」指導
(国東市立国東小学校)



一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導の徹底
(中津市立和田小学校)

低学力層の児童生徒に優しい3つの授業改善

授業改善のPoint

- ①「1時間完結」型授業の徹底 → 自閉的傾向
ゴールを見通せることで、安心して学習できる
- ②板書の構造化、板書とノートの一体化 → LD傾向
「視覚」の困難が低減され、安心して学習できる
- ③習熟の程度に応じた指導の強化 → ADHD傾向
多くの困難が低減され、安心して学習できる

好事例

ウォーミングアップの課題
優れた点を見つけよう。

- ※ 優れていると思った点を
瞬時に脳に記憶させよう。
- ※ 資料に記録してもよいですが...

問題 ビー玉が24こあります。1人に6こずつはると何人に分けられるでしょう？

わり算
 $24 \div 6 = 4$ A 4人
 $(81 \div 9 \Rightarrow \text{おはじきが})$
 たりない!

課題 あっというまに、計算でもとめるルールは何かな？

見通し われる数 わる数 答え

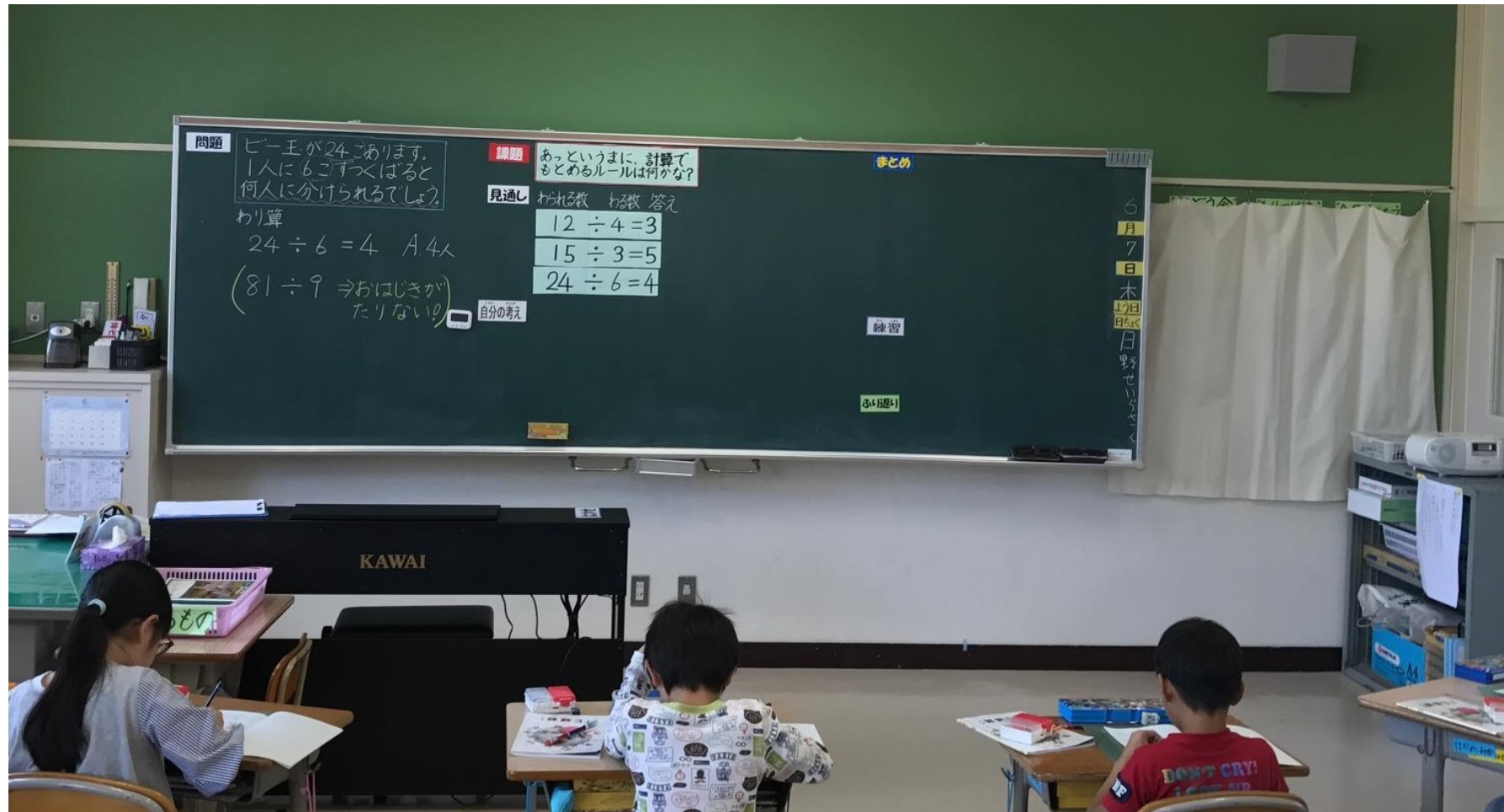
$12 \div 4 = 3$
 $15 \div 3 = 5$
 $24 \div 6 = 4$

まとめ

練習

ふり返り

6月7日 木曜日



めあて 丈夫で綺麗な箱巾を作ろう。

課題 どうすれば「丈夫」で「きれい」になるか。

復習

- ・ 丈夫
- ・ 袋ぬい
- ・ 外用、対角線、2回ぬい
- ・ 返しぬい

・ きれい



ぬい目が真ん中
立端から1cmくらい
袋ぬいた所から始める

1回目の反省



2回目の製作

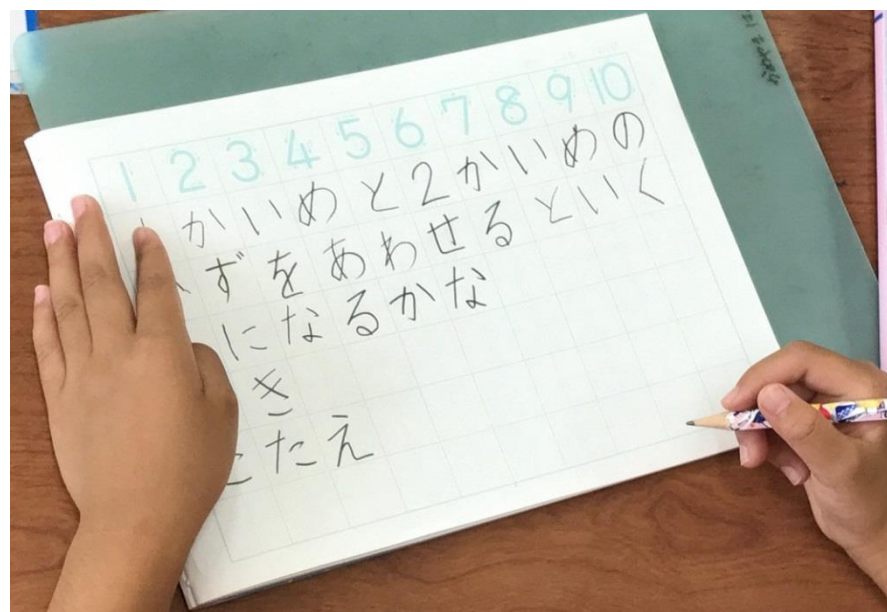
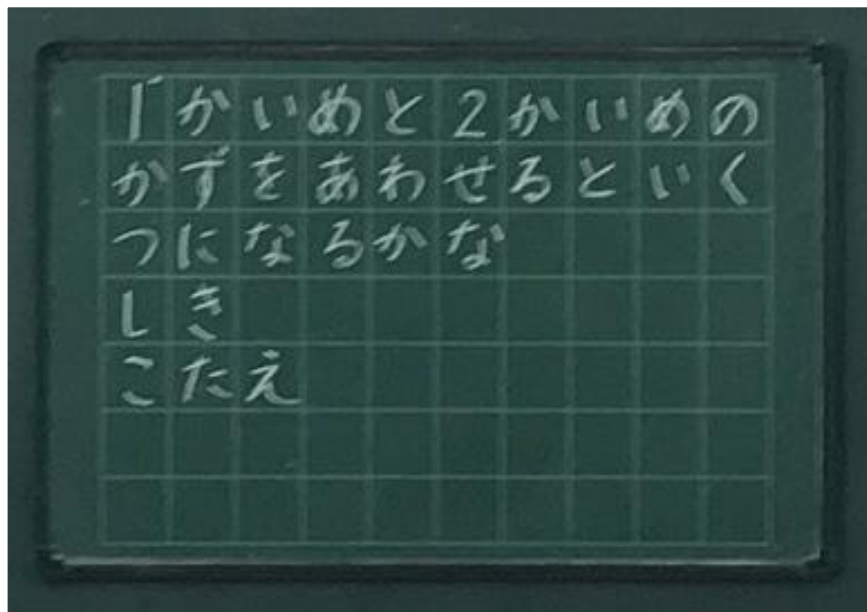
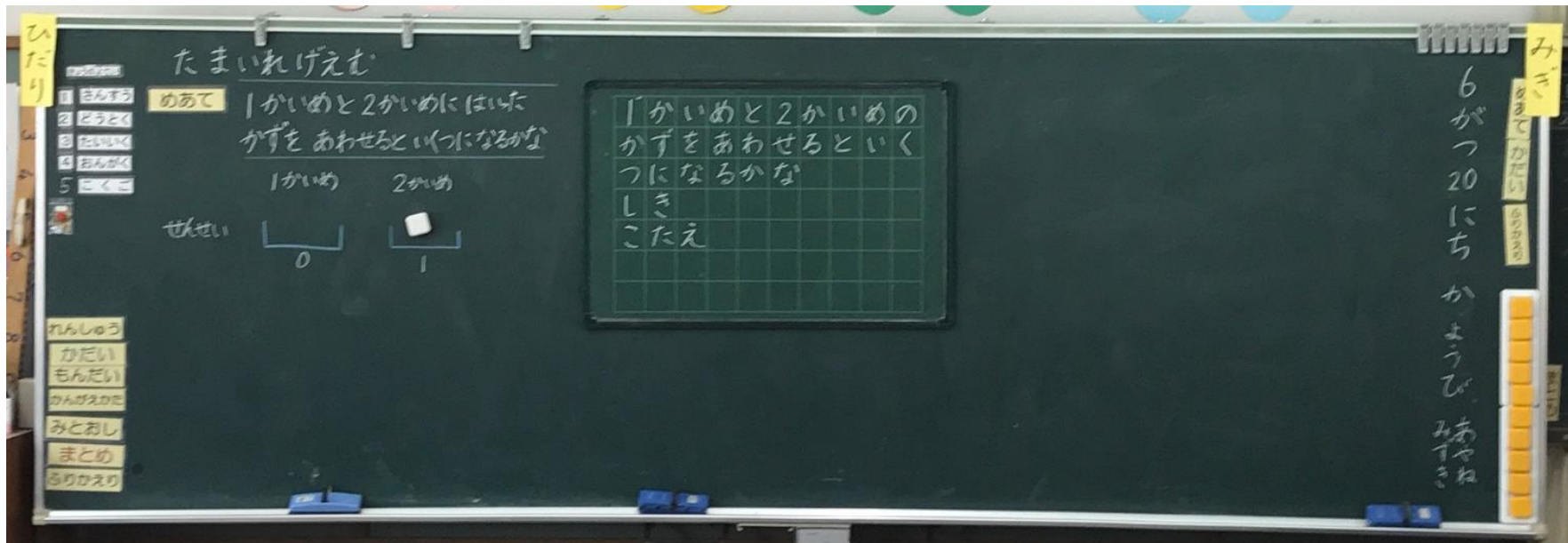


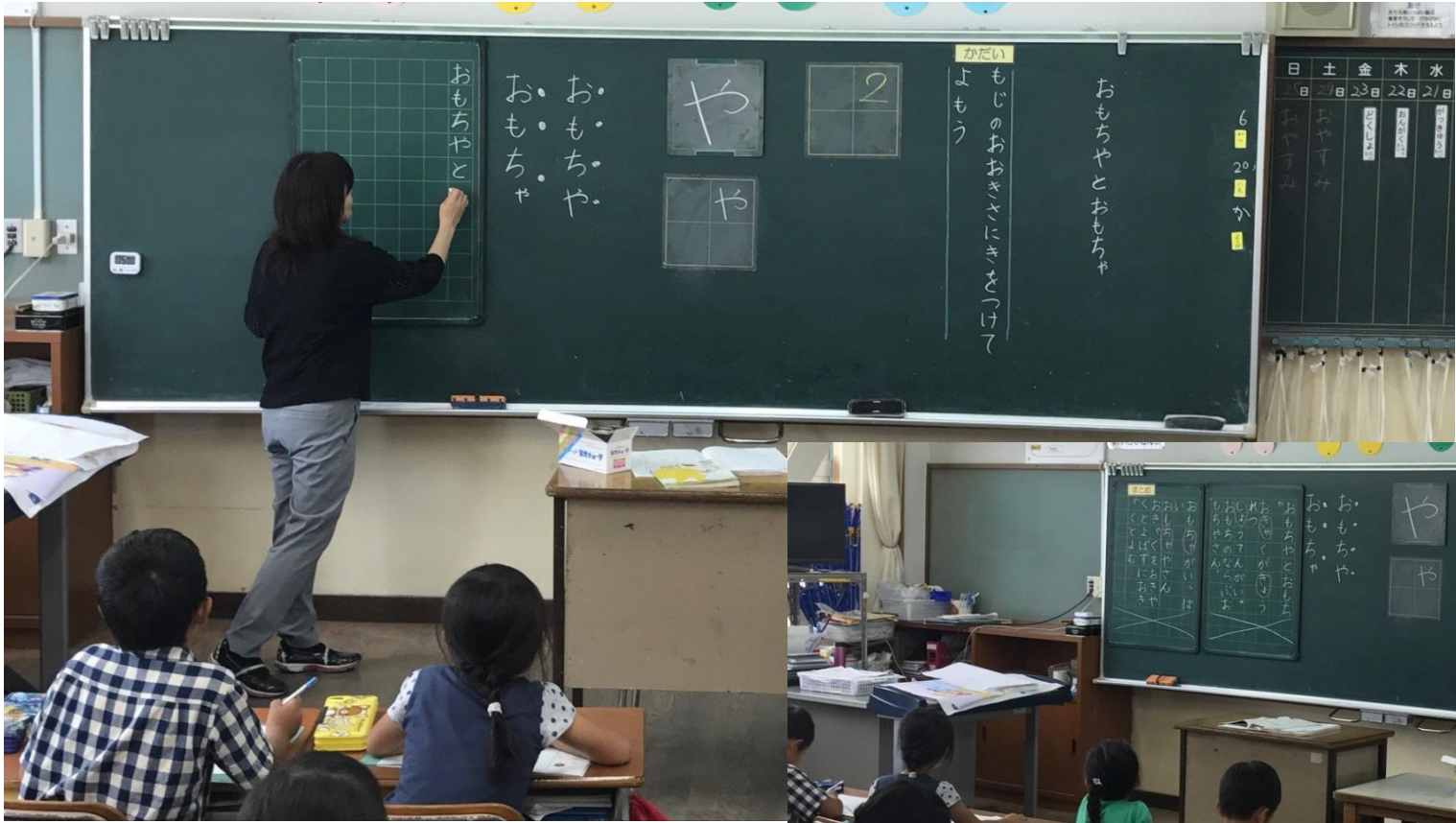
まとめ

まとめ

振り返り

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

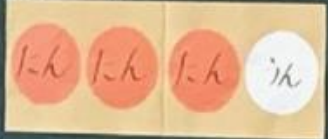




めあて

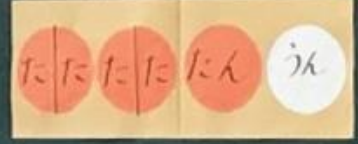
ことばをつかって リズムをつくらう。






24ペえじ ㊦のリズム



-  た ま ご .
-  と ま と .
-  ば な な .
-  す い か .
-  い ち ご .
-  め ろ ん .

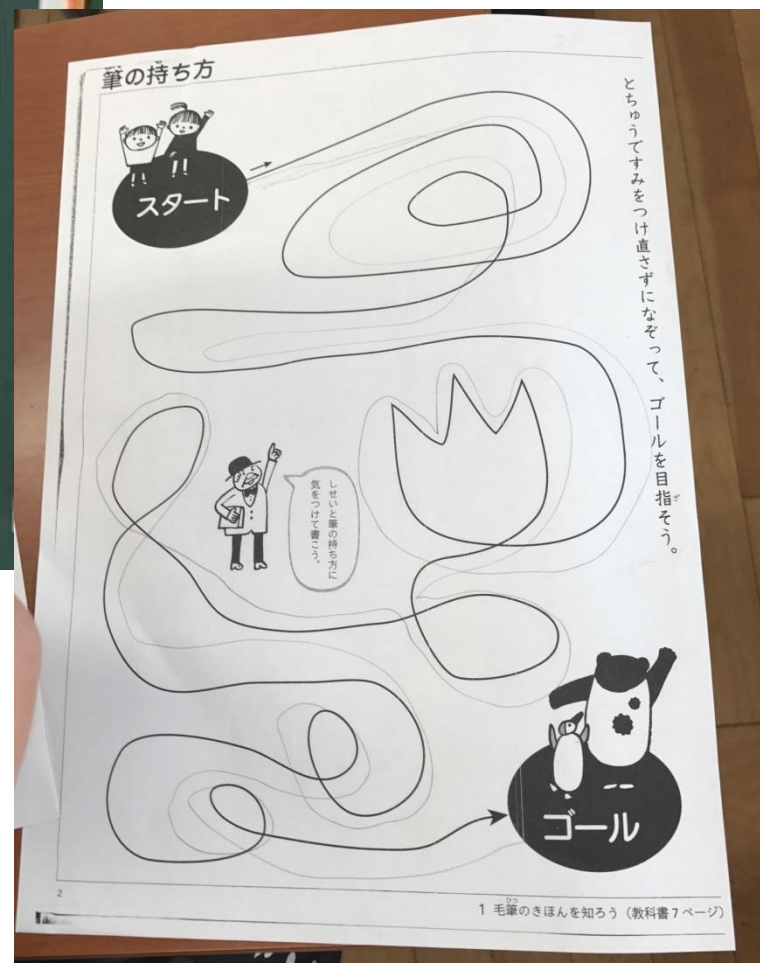
㊧のリズム



-  め た ま や き .
-  お む ら い す .
-  さ つ ま い も .
-  え び ふ ら い .
-  か き ご め り .

ぺあでれんしゅう
↓
はっぴょう

ふりかえり



ワークショップ1・2

課題 良い点や改善点を見つけ合おう。

- ⑩ 板書やノートを見合い、
良い点(青)、改善点(黄)で指摘
→付箋には、自分の名前を書くこと
→指摘理由を説明できるように
- ⑫ 互見が終わったら、相互批評
→指摘したわけを説明すること

まとめ

好事例

後藤の着眼点

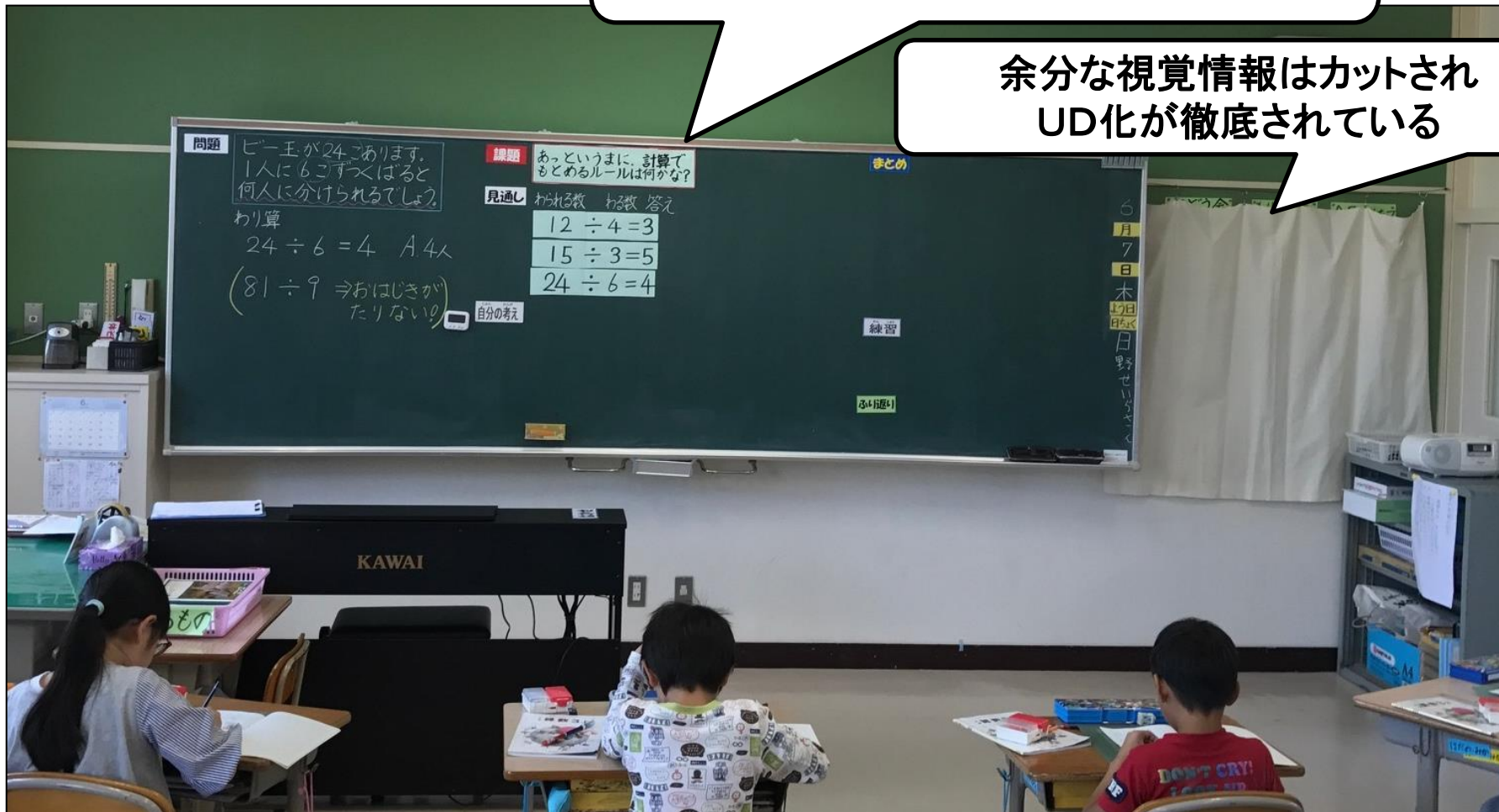
- ※ 何を伝えたくて、これらの写真を構成したのかをお話しします。

①「1時間完結」型授業の徹底

②板書の構造化

プレートを活用。予め授業の流れが見通せ、すっきりと整理された板書に

余分な視覚情報はカットされUD化が徹底されている



①「1時間完結」型授業の徹底

②板書の構造化


プレートを活用し、授業(活動)の流れが見通せ、すっきりと整理された板書に

めあて 丈夫できれいな箱巾を作ろう。

課題 どうすれば「丈夫」「きれい」になるか。

復習

- ・丈夫
- ・袋ぬい
- ・外用、対用線、2回ぬい
- ・返しぬい



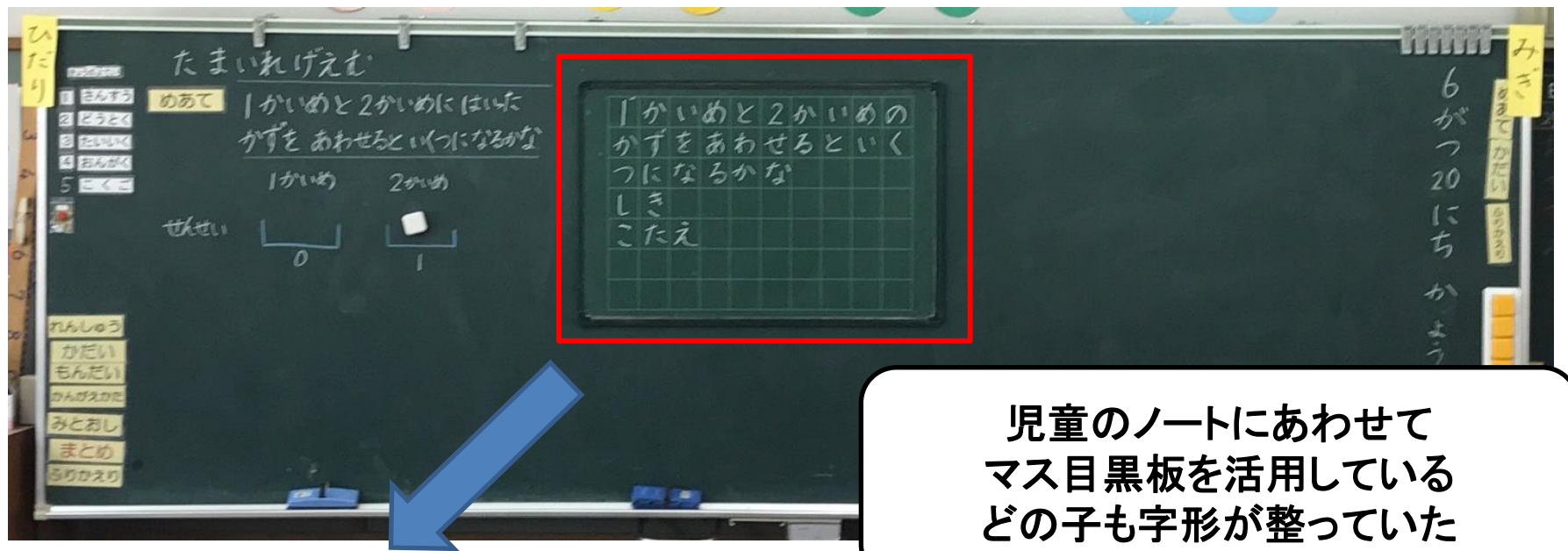
きれいな

ぬい目が真ん中
立端から1cmくらい
袋ぬいた所から始める

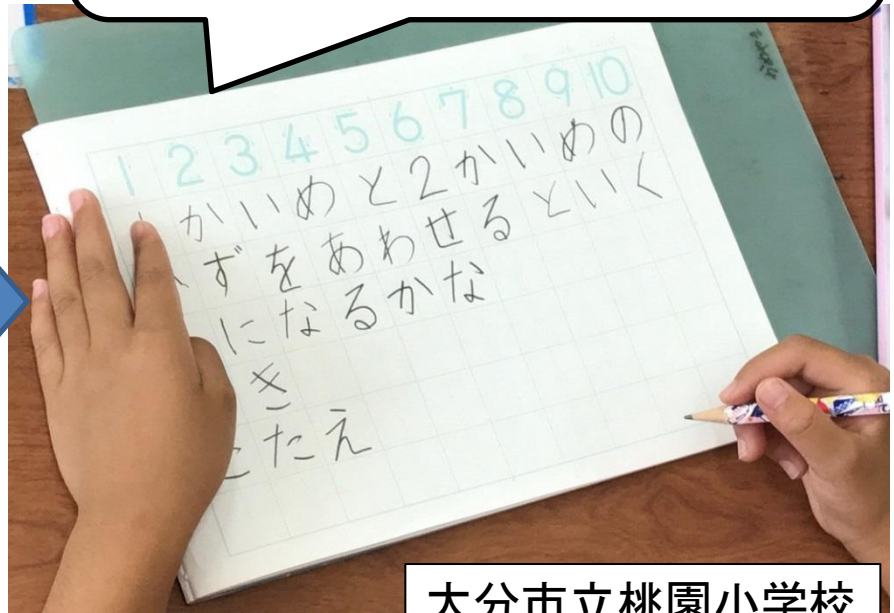
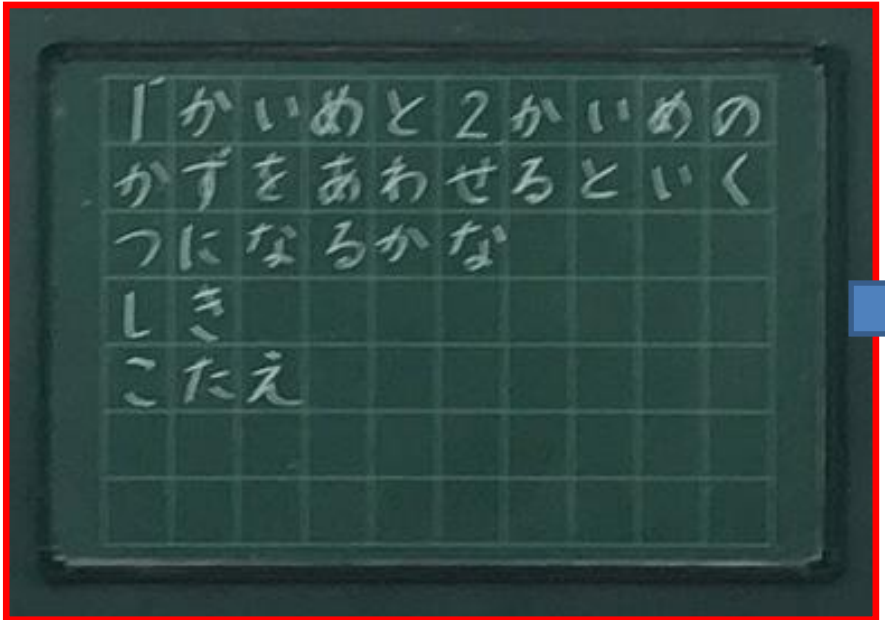
1回目の反省
↓
2回目の製作
↓ ~15分
まとめ

まとめ
振り返り

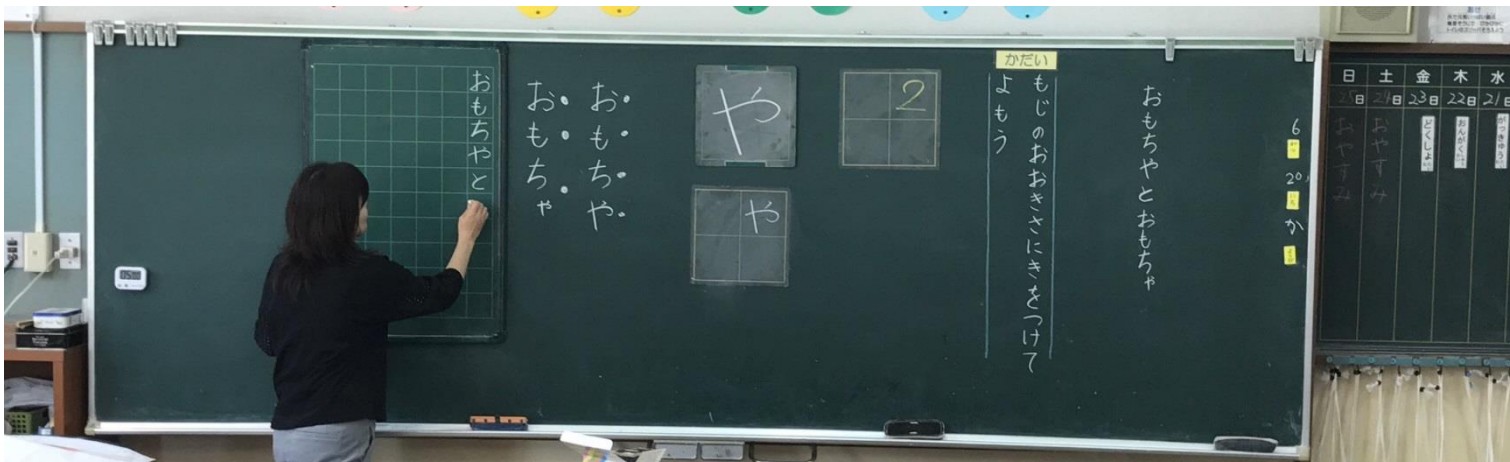
②板書の構造化、板書とノートの一体化



児童のノートにあわせてマス目黒板を活用している
どの子も字形が整っていた



②板書の構造化



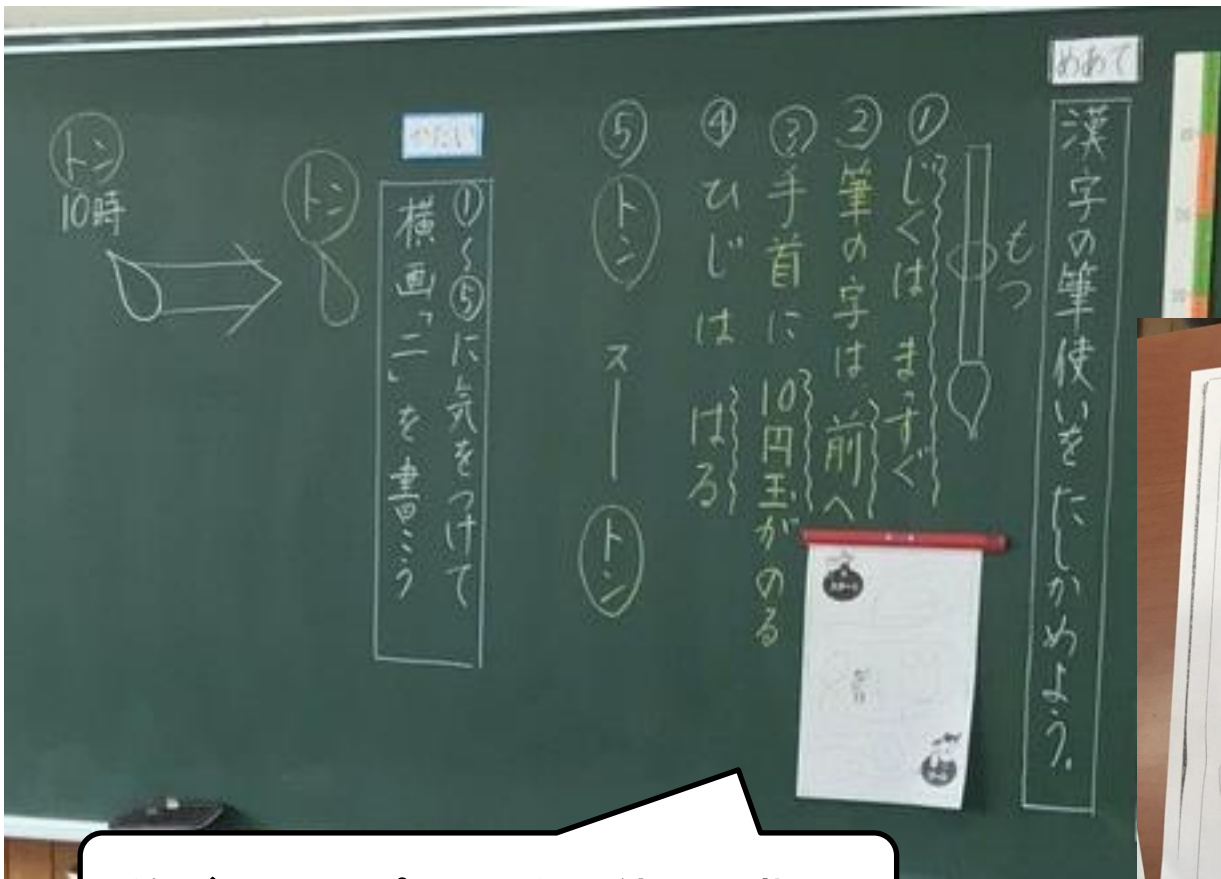
マス目黒板を活用し、大事なことを押さえ、かつ、すっきりと整理された板書でわかりやすく展開している子どもたちは教師の一挙手に集中！

- ③習熟の程度に応じた指導の強化
- ②板書の構造化
- ①「1時間完結」型授業の徹底

「リズムとり」の習熟差を埋める
視覚と聴覚情報を、すっきりと整理し、
かつ、振り返りまでの流れが明確

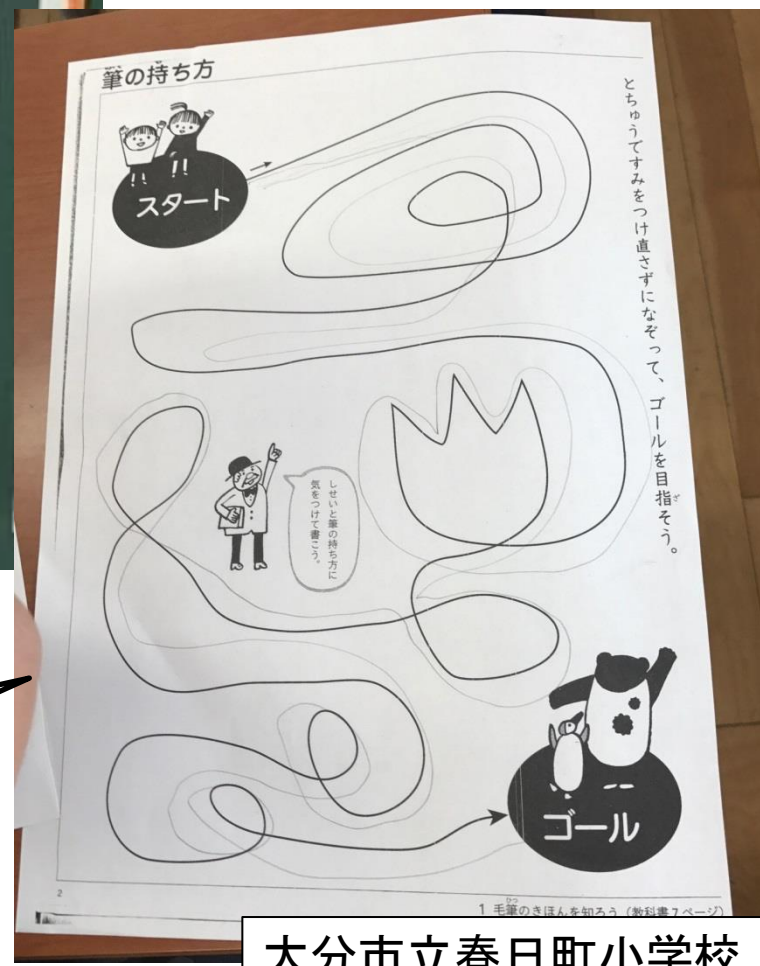


③習熟の程度に応じた指導の強化



筆づかいのポイントを具体的に指示

筆の持ち方の巧緻性を高めるワークシートを活用し、楽しい書写の時間になるよう工夫



まとめ

子どもたちの「困難」を低減する

- ・視覚、聴覚情報を制御する
- ・指示は端的、明確に



タスクに紛れがなくなり、集中力が増す



脳は絶えず学習している(UD化を)

〈算ルーム 一年間のめあて〉
「ノートの手書き方名人になろう。」

4年

- ・めあて・課題・まとめをきっちり。
- ・自分の考えを書けるようになるう。

5年

- ・板書以外に必要だと思ったことをノートに残そう。

- ・自分のノートの書き方を確立していこう!

大分市立寒田小学校

goto-eiichi@pref.oita.lg.jp